

駐車場を利用しタイムを競う 「パーククライムinさくら野北上」大会

第1回「パーククライムinさくら野北上」大会(NPO法人フォルダ主催)は11月24日早朝、市営本通り駐車場で行われました。パーククライムとは、立体駐車場を利用した新しい自転車競技で、高校生から60代までの男女32人が参加。駐車場1階から一人ずつ1分置きにスタートし、8階までのタイムを競いました。

優勝した安倍大成くん(紫波総合高校自転車競技部1年)は「練習の成果を出せた。日差しがさすがに景色もよかった」と楽しんでいました。

駐車場の1階から8階までを自転車だけであがり、タイムを競いました



黒岩鬼剣舞、二子流東京鬼剣舞、二子鬼剣舞に盛大な拍手が送られました

60年の節目祝い感謝の舞い 二子鬼剣舞創立60周年記念公演

二子鬼剣舞創立60周年記念公演「剣べえ虫たちのてんこ盛り興演」は11月24日、さくらホールで行われました。全日本民舞踊大会(読売新聞社主催)で優勝した昭和29年の創立から60年、長年の活動の成果を伝える舞台として企画されました。6段構成からなる舞台は、お祓いの儀から始まり、地元の小・中学校の修行生が「一番庭」などを披露。「活方」や「かにむくり」など、アレンジを加えた余興的演目の後、60年の感謝の気持ちを込めた60人の舞いが満席の観客を魅了しました。

鬼の館「人形歌舞伎」初公演 鬼学講座④「倉沢人形歌舞伎」

鬼学講座(鬼の館主催)は14日、同館で行われました。鬼について学ぶこの講座は全5回で毎年開催しています。4回目の講座となる今回は、鬼の館初公演の倉沢人形歌舞伎(花巻市東和町)による、人形で演じる歌舞伎を鑑賞。祝儀舞として初めに舞う「三番叟」や、妖怪を討伐する「岩見重太郎 狒々退治」などが演じられ、観客は丁寧な人形の動きに見入っていました。倉沢人形歌舞伎は岩手県指定無形民俗文化財に認定されており、倉沢の有志により100年以上伝承されています。

鬼の館では初めての公演となる「倉沢人形歌舞伎」が披露されました



優勝した「3A COMPANY」のメンバーによるダンス

30周年祝いダンス大会 DANCE☆ATTACK2014

北上商工会議所青年部30周年記念事業「DANCE☆ATTACK2014」は11月23日、さくらホールで行われました。これは「北上を表現し、観客に元気と笑顔を与えるダンス」を採点基準として行われたジャンルを問わない大会で市内外から8チームが出場。展勝地の桜などさまざまなイメージをダンスで表現し、熱戦を繰り広げました。優勝は、結成5年目の「3A COMPANY」。代表の齊藤麻央さん(大堤西)は「優勝は想像していなかったのでうれしい」と喜んでいました。

安全とにぎわいを祈願

夏油高原スキー場安全祈願祭

夏油高原スキー場安全祈願祭は5日、同スキー場で行われました。(株)北日本リゾートの菅原三多英代表取締役のほか関係者約70人が参列。シーズン中の安全と多くの来客でにぎわうよう祈願し、岩崎鬼剣舞が勇壮な舞を奉納しました。同スキー場は、61歳のリフト料金を無料にするほか、県内の全小学生に無料リフト券を配布。天候が荒れた日でも子どもたちが遊べるように、今年から屋内ゲレンデ(長さ12m、幅5m)を設置し、6日から営業を開始しています。

雪が舞う中
行われた神事。
安全とにぎわ
いを祈願する、
小原弘明支配人



兄弟や家族に
囲まれお祝い
を受ける巖
さん(中央)

百歳これからもお元気で

千葉巖さん

ケアハウス北星荘に入所している千葉巖さんが百歳を迎え11月20日、同施設で祝う会が開かれました。巖さんは大正3年11月20日生まれ。32歳でヒデさんと結婚し、子1人、孫1人に恵まれています。

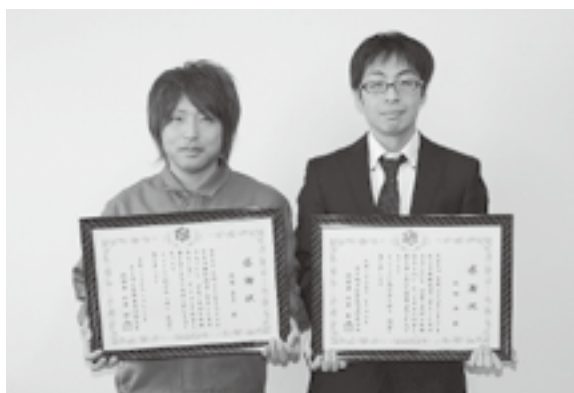
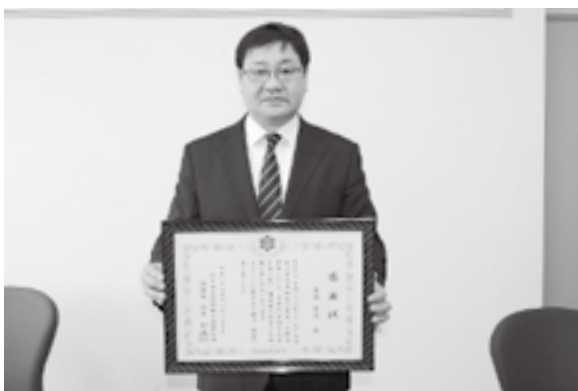
公務員一筋で働いてきた巖さん。毎朝、新聞を読み、体操もしています。孫の成長を見るのが一番の楽しみで、元気の源。二度目の東京オリンピックを見ることを目標にしており「皆さんのおかげで今日を迎えられた。これからも長生きしたい」と笑顔満開でした。

消防業務一般協力者表彰

適切な応急手当で人命救助

北上地区消防組合は11月27日、心肺蘇生法により男性を救命した高橋正浩さん(53歳・上江釣子)に対し、感謝状を贈り表彰しました。高橋さんは、11月15日の夕方、市内ホテルのトイレで意識を失い倒れる男性に遭遇。この男性の呼吸が止まっていたため、即座に胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行いました。その後、男性は呼吸と意識を回復しました。高橋さんは「救命講習会を受講したことがあったのでできたと思います。助かってよかったです」と話していました。

胸骨圧迫(心臓
マッサージ)を
実施し、人命
救助の表彰を
受けた高橋さん



車両火災における
応急消火の表彰を
受けた山田さん
(右)と阿部さん
(左)

連携作業で延焼を防止

北上地区消防組合は11月27日、車両火災の初期消火を行った山田昇さん(29歳・上野町)と阿部貴志さん(33歳・一関市)に対し、感謝状を贈り表彰しました。

二人は、10月30日午前0時ごろ和賀町藤根地内の国道をそれぞれ車で走行中、住宅敷地内で発生した車両火災を偶然発見。車両からは火柱が2m近く上がり、住宅に延焼する恐れがありましたが、二人は火災を通報後、敷地内にあった水道ホースを使ってこの火災を消火し、住宅への延焼を食い止めました。